

須賀川地方広域消防組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
に基づく取組状況（2022年度）

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく取組状況の公表

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき策定した「須賀川地方広域消防組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に係る、2022年度の温室効果ガス総排出量の実績状況について次のとおり公表します。

須賀川地方広域消防組合の事務事業における温室効果ガス排出量

須賀川地方広域消防組合の業務により排出される温室効果ガス（二酸化炭素（CO₂））を2030年度末までに2020年度比で、約15%以上削減することを目標としています。

「須賀川地方広域消防組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、年度の取組み目標を設定し、省エネルギーの推進に取り組んだことにより、2022年度において前年度より6 t-CO₂削減し、年間目標値（約1.5%削減）を達成しています。

温室効果ガス総排出量

（2022年度）

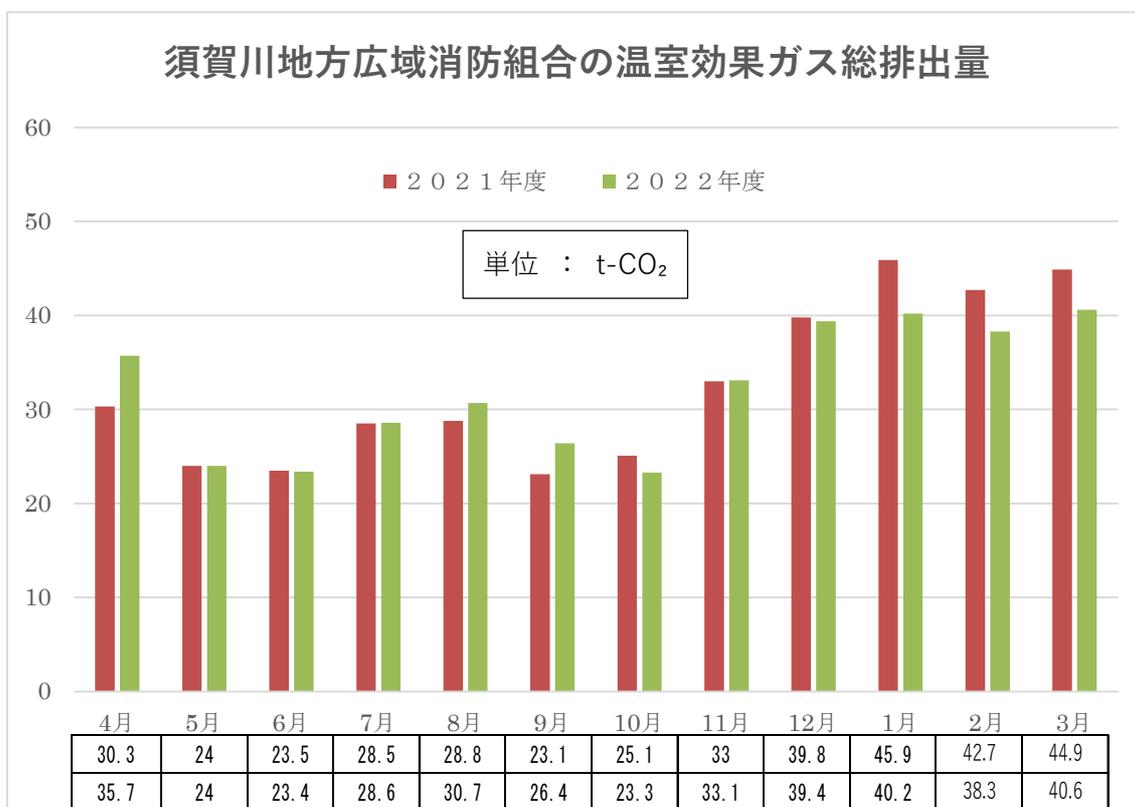
| 年 度 | 温室効果ガス総排出量 | 前年比 | 基準年度比 |
|------------------|-----------------------|---------|--------|
| 2020年度 （基準年度） | 400 t-CO ₂ | ----- | ----- |
| 2021年度 | 390 t-CO ₂ | 2.5%削減 | 2.5%削減 |
| 2022年度 | 384 t-CO ₂ | 1.54%削減 | 4.0%削減 |

須賀川地方広域消防組合の温室効果ガス排出量月別推移

2021年度と比較し、上半期は温室効果ガスの排出量が増加傾向でしたが、下半期は減少傾向に転じました。

上半期に室効果ガスの総排出量が増加した要因は、夏季に気温の高い日が続いたことにより、空調設備の使用時間が長くなったことが考えられます。

下半期に温室効果ガスの総排出量が減少した要因は、電力会社の節電チャレンジキャンペーンへの参加により職員へ省エネルギーの推進を動機付けたことで、空調設備等の運用が改善されるなど省エネ意識が向上したことによるものです。

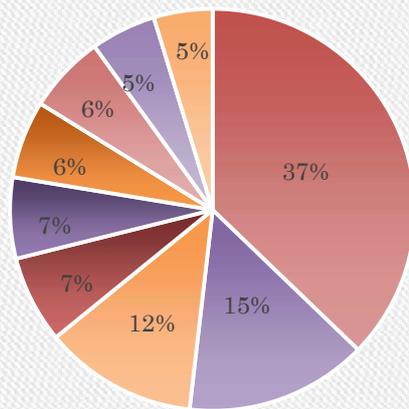


上段：2021年度排出量 下段：2022年度排出量

施設別温室効果ガス総排出量

施設別の温室効果ガス総排出量は、「消防本部・須賀川消防署」が最も多く全体の約37%（143t-CO₂）を占め、次いで石川消防署 約15%（56t-CO₂）、長沼分署 約12%（47t-CO₂）などとなっています。

施設別 温室効果ガス排出量



- 本部・須賀川消防署(143t-CO₂)
- 石川消防署(56t-CO₂)
- 長沼分署(47t-CO₂)
- 鏡石分署(27t-CO₂)
- 平田分署(25t-CO₂)
- 浅川分署(24t-CO₂)
- 玉川分署(24t-CO₂)
- 古殿分署(20t-CO₂)
- 湯本分遣所(18t-CO₂)

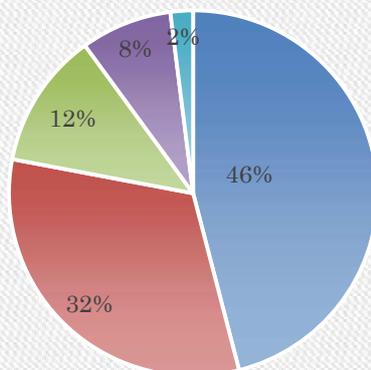
2021年度

本部・須賀川消防署37% 石川消防署15% 長沼分署12% 鏡石分署7%、玉川、浅川、平田、古殿分署6% 湯本分遣所5%

エネルギー種別における排出状況

エネルギー種別では、電気、ガソリン、軽油、灯油、LPGの順に総排出量が多くなっています。

エネルギー種別 温室効果ガス排出量



- 電気の使用
- ガソリンの使用
- 軽油の使用
- 灯油
- LPGの使用